



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月11日

上場会社名 HOUSEI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5035 URL https://www.housei-inc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 管祥紅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員管理本部長 (氏名) 羽入友則 (TEL) 03(4346)6600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,214	△6.5	46	50.3	50	95.0	36	151.4
2025年12月期第1四半期	1,298	3.2	30	91.3	25	△34.5	14	△44.9

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 80百万円(-%) 2025年12月期第1四半期 △42百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	5.40	—
2025年12月期第1四半期	2.11	—

(注) 2026年12月期第1四半期及び2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,444	3,092	69.3
2025年12月期	4,786	3,079	64.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 3,081百万円 2025年12月期 3,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	8.8	240	556.6	240	342.7	170	—	25.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 0社(社名) 、 除外 1社(社名) SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	7,094,200株	2025年12月期	7,094,200株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	405,104株	2025年12月期	302,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	6,737,132株	2025年12月期1Q	6,868,380株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは、「IT partner to achieve AX:AIトランスフォーメーションを実現するITパートナーとして、メディア業界を始め様々な企業向けシステム開発で培った成功経験やノウハウを活かし、お客様の想いをカタチにし、お客様とともに成長するITパートナーを目指す。」ことをミッションとして掲げております。

このミッションの下、当第1四半期連結会計期間において、当社グループは順天堂大学より業務委託を受け、患者の「自立支援医療費（更生医療）支給要否意見書」を自動作成する技術研究を行いました。これは、当社グループの生成ローコード開発プラットフォーム「imprai」を活用し、患者の電子カルテ（匿名化データ）をAIに学習させ、各自治体で異なる意見書様式に沿って自動作成するものです。意見書は、医師が実際に作成した意見書と照合し、記入項目ごとの一致率を評価。フィードバックによりAIモデルを改善し、精度の向上を図ります。データは匿名化・厳重保管され、外部に送信されないセキュア環境下で分析されます。本研究を通じて、生成AIを活用した書類作成支援業務を拡大し、医療分野におけるAIの実用化と発展に貢献してまいります。

また、世界25か国以上で展開されるWMS（倉庫管理）ソリューション「LOGIFLUX（ロジフラックス）WMS」の販売を開始いたしました。「LOGIFLUX WMS」は、倉庫運用全体を統合管理するパッケージ型WMSであり、入庫・出庫・在庫管理から、クロスドック管理・パース管理・作業タスク管理・KPI可視化まで倉庫業務を最適化し、物流現場のDXを支援する包括的ソリューションです。物流業界が今後ますます深刻化する課題に直面する中で、変化の激しい日本市場の環境に柔軟に対応可能な次世代ロジスティクス基盤として、物流企業の持続的な成長を力強く支援してまいります。

さらに、AI（人工知能）・ITを活用したHOUSEIの省力化店舗運営支援サービス「無人店舗ソリューション」については、三洋堂書店33店舗、その他61店舗の計94店舗に導入されています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は1,214,704千円（前年同四半期比84,208千円減、同6.5%減）となりました。売上総利益率の改善、販管費の削減により、利益面については、営業利益は46,057千円（同15,422千円増、同50.3%増）、経常利益は50,350千円（同24,523千円増、同95.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36,411千円（同21,929千円増、同151.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内IT事業

国内IT事業は当社、アイード株式会社及びOmniXuttle株式会社で展開しております。売上高は1,120,598千円（前年同四半期比72,536千円減、同6.1%減）、営業利益は76,350千円（同49,506千円増、同184.4%増）となりました。

② 海外IT事業

海外IT事業は璞華国際科技（武漢）有限公司、璞華供給鎖（蘇州）有限公司及び方正環球科技有限公司で展開しております。売上高は94,106千円（前年同四半期比11,671千円減、同11.0%減）、営業損失は36,238千円（前年同四半期は20,401千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から341,074千円減少し、4,444,942千円となりました。

流動資産は、主に契約資産が224,480千円増加した一方で、現金及び預金が313,380千円減少、受取手形及び売掛金が247,627千円減少したことなどにより343,061千円減少して2,762,213千円となりました。

固定資産は、主に減価償却累計額が25,236千円増加、のれんが17,780千円減少した一方で、建物及び構築物が31,970千円増加、ソフトウェア仮勘定が11,102千円増加、敷金及び保証金が7,214千円増加したことなどにより1,986千円増加して1,682,728千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末から354,964千円減少して1,352,016千円となりました。

流動負債は、主にその他が206,011千円減少、支払手形及び買掛金が99,611千円減少したことなどにより297,159千円減少して860,924千円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が45,439千円減少、退職給付に係る負債が11,913千円減少したことなどにより57,805千円減少して491,091千円となりました。

(純資産)

純資産の部では、主に自己株式を取得したことにより44,127千円減少した一方、為替換算調整勘定が47,409千円増加、利益剰余金が16,035千円増加したことなどにより、当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は13,890千円増加して3,092,926千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に2025年12月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,419,927	1,106,547
受取手形及び売掛金	785,567	537,940
契約資産	569,264	793,745
商品及び製品	48,704	5,785
仕掛品	161,079	208,964
原材料及び貯蔵品	525	69
その他	121,817	110,813
貸倒引当金	△1,612	△1,652
流動資産合計	3,105,275	2,762,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	986,344	1,018,315
工具、器具及び備品	208,462	207,518
減価償却累計額	△366,870	△392,107
有形固定資産合計	827,936	833,726
無形固定資産		
のれん	626,249	608,469
ソフトウェア	52,059	46,149
ソフトウェア仮勘定	1,806	12,909
無形固定資産合計	680,116	667,528
投資その他の資産		
投資有価証券	28,800	32,121
長期貸付金	1,416	1,317
繰延税金資産	42,757	41,851
長期前払費用	7,084	6,337
敷金及び保証金	87,590	94,805
その他	5,040	5,040
投資その他の資産合計	172,689	181,473
固定資産合計	1,680,741	1,682,728
資産合計	4,786,016	4,444,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,282	92,671
1年内返済予定の長期借入金	151,435	141,316
未払法人税等	30,807	22,185
賞与引当金	128,293	139,320
受注損失引当金	—	16,176
その他	655,265	449,254
流動負債合計	1,158,083	860,924
固定負債		
長期借入金	393,841	348,402
退職給付に係る負債	153,496	141,582
その他	1,559	1,107
固定負債合計	548,897	491,091
負債合計	1,706,980	1,352,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	656,142	656,142
資本剰余金	1,124,299	1,124,185
利益剰余金	1,103,966	1,120,001
自己株式	△138,940	△183,068
株主資本合計	2,745,466	2,717,260
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	316,706	364,116
その他の包括利益累計額合計	316,706	364,116
非支配株主持分	16,862	11,549
純資産合計	3,079,036	3,092,926
負債純資産合計	4,786,016	4,444,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,298,912	1,214,704
売上原価	889,625	800,289
売上総利益	409,287	414,414
販売費及び一般管理費	378,652	368,357
営業利益	30,635	46,057
営業外収益		
受取利息	399	631
為替差益	—	4,444
補助金収入	4,741	602
その他	953	682
営業外収益合計	6,094	6,360
営業外費用		
支払利息	2,436	1,589
為替差損	8,230	—
支払手数料	235	477
営業外費用合計	10,902	2,067
経常利益	25,827	50,350
税金等調整前四半期純利益	25,827	50,350
法人税、住民税及び事業税	7,638	16,054
法人税等調整額	3,785	905
法人税等合計	11,424	16,960
四半期純利益	14,402	33,390
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△78	△3,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,481	36,411

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	14,402	33,390
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△57,165	47,409
その他の包括利益合計	△57,165	47,409
四半期包括利益	△42,762	80,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,683	83,821
非支配株主に係る四半期包括利益	△78	△3,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	国内IT事業	海外IT事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,193,134	105,778	1,298,912	—	1,298,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,544	241,429	244,973	△244,973	—
計	1,196,679	347,207	1,543,886	△244,973	1,298,912
セグメント利益又は損失(△)	26,843	△20,401	6,441	24,193	30,635

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額24,193千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	国内IT事業	海外IT事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,120,598	94,106	1,214,704	—	1,214,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,520	230,717	234,237	△234,237	—
計	1,124,118	324,823	1,448,942	△234,237	1,214,704
セグメント利益又は損失(△)	76,350	△36,238	40,111	5,945	46,057

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 5,945千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	21,614千円	27,148千円
のれんの償却費	42,465千円	37,321千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、売上高をセグメント情報の報告セグメントの区分に基づき分解するとともに、さらに契約類型により分解しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	国内IT事業	海外IT事業	計
請負	488,539	47,869	536,409
プロダクト	80,173	48,034	128,207
準委任及び保守	541,098	—	541,098
その他	83,324	9,873	93,197
顧客との契約から生じる収益	1,193,134	105,778	1,298,912
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,193,134	105,778	1,298,912

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	国内IT事業	海外IT事業	計
請負	433,228	41,913	475,141
プロダクト	32,336	37,620	69,956
準委任及び保守	565,886	14,322	580,209
その他	89,147	249	89,396
顧客との契約から生じる収益	1,120,598	94,106	1,214,704
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,120,598	94,106	1,214,704